

大阪市立大学大学院経済学研究科

経済格差研究センター研究員

大西 祥 恵

表1 問1 年齢はおいくつですか

	人数	割合
20歳未満	0	0.0
20-24歳	0	0.0
25-29歳	0	0.0
30-34歳	2	4.0
35-39歳	4	8.0
40-44歳	6	12.0
45-49歳	5	10.0
50-54歳	12	24.0
55-59歳	14	28.0
60-64歳	5	10.0
65-69歳	2	4.0
70-74歳	0	0.0
75歳以上	0	0.0
有効回答者数	50	100.0
不明	0	
合計	50	

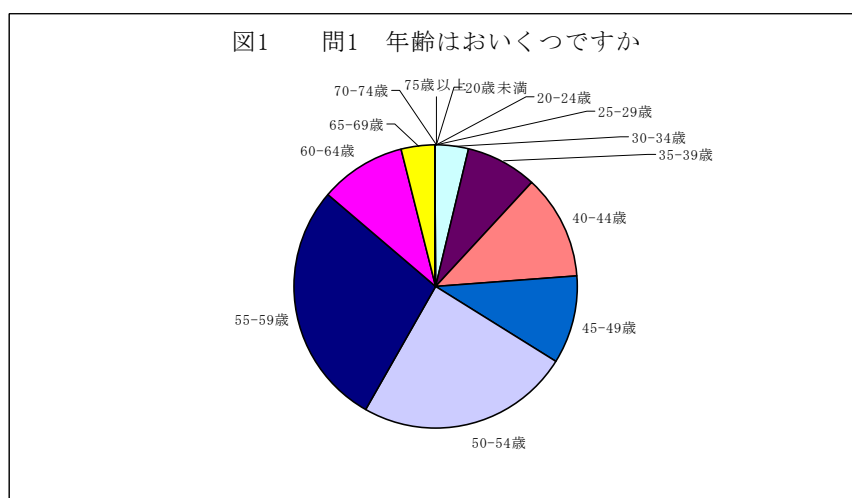
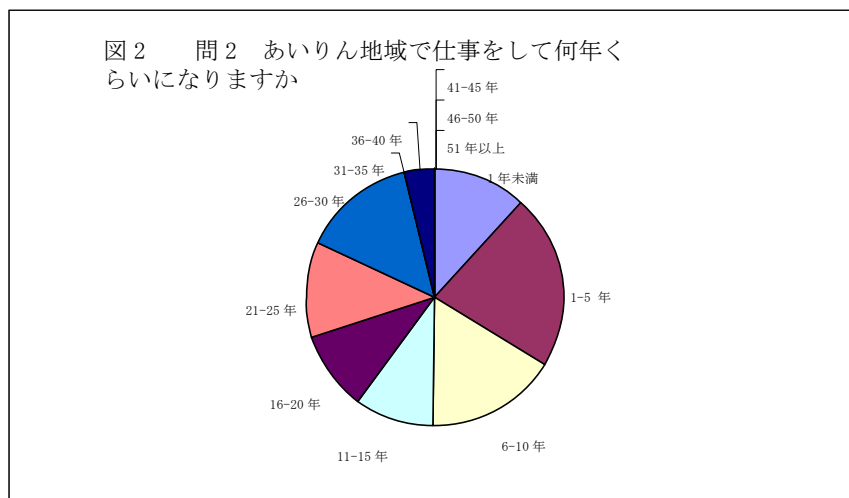


表 1、図 1 は、年齢についてみたものである。最も多かったのは「55-59 歳」で 14 人 (28.0%)、次に多いのが「50-54 歳」で 12 人 (24.0%) となっており、50 歳代の者で半数以上を占めている。

表 2 問 2 あいりん地域で仕事をして何年くらいになりますか

	人数	割合
1 年未満	6	12.0
1-5 年	11	22.0
6-10 年	8	16.0
11-15 年	5	10.0
16-20 年	5	10.0
21-25 年	6	12.0
26-30 年	7	14.0
31-35 年	0	0.0
36-40 年	2	4.0
41-45 年	0	0.0
46-50 年	0	0.0
51 年以上	0	0.0
有効回答者数	50	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	50	



あいりん地域で仕事をして何年くらいになるかを問うたところ、最も多かったのは「1-5年」で11人（22.0%）を占めていた（表2、図2）。この「1-5年」と「1年未満」、「6-10年」と回答した者と合計すると50.0%に達しており、この10年間であいりん地域に来た者が半数を占めていることがわかる。また、「21-25年」、「26-30年」と回答した者もそれぞれ6人（12.0%）、7人（14.0%）に上っている。さらに「36-40年」という者も2人いたが、これは高度成長期後半から第一次オイルショックの時期にあたる。

表3 問3 現在、住んでいるのは、
あいりん地域内ですか

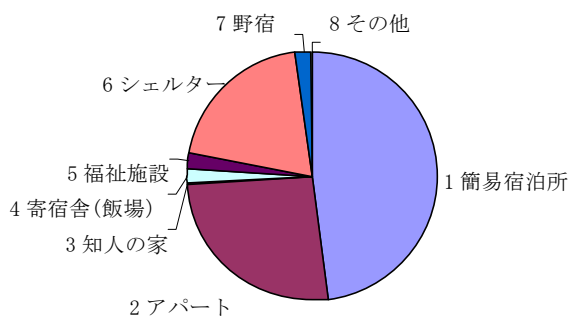
	人数	割合
はい	41	82.0
いいえ	9	18.0
有効回答者数	50	100.0
不明	0	
合計	50	

表3は、現在住んでいるのはあいりん地域内かを聞いた結果であるが、「はい」と回答した者が41人（82.0%）と圧倒的多数を占めている。

表4 問4 最近1ヶ月間に、一番多く
寝泊りしたのはどこですか

	人数	割合
1 簡易宿泊所	24	48.0
2 アパート	13	26.0
3 知人の家	0	0.0
4 寄宿舍(飯場)	1	2.0
5 福祉施設	1	2.0
6 シェルター	10	20.0
7 野宿	1	2.0
8 その他	0	0.0
有効回答者数	50	100.0
不明	0	
合計	50	

図3 問4 最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りしたのはどこですか



最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りした場所を問うたところ、最も多かったのが「簡易宿泊所」で24人(48.0%)と半数弱を占めた(表4、図3)。続いて、「アパート」と回答した者が13人(26.0%)、「シェルター」と回答した者が10人(20.0%)で2割を超えている。

表5 問5 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っていますか

	人数	割合
1 持っている	12	24.5
2 以前は持っていたが、今は持っていない	14	28.6
3 作ったことがない	23	46.9
有効回答者数	49	100.0
不明	1	
合計	50	

図4 問5 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っていますか

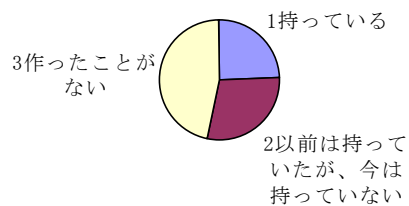


表 5、図 4 は日雇雇用保険手帳（白手帳）の所持について聞いた結果を示したものである。「作ったことがない」と答えた者が最も多く 23 人（46.9%）で約 4 割 5 分を占める。次に多かったのは「以前は持っていたが、今は持っていない」と答えた者で 3 割弱、最も少なかったのは「持っている」と答えた者で 2 割 5 分となっている。

表 6 問 5-1 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っている場合
の今月の認定資格

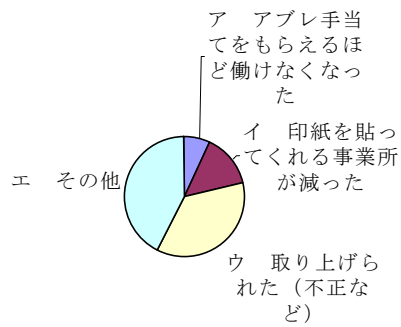
	人数	割合
有	8	72.7
無	3	27.3
有効回答者数	11	100.0
不明	1	
非該当	38	
合計	50	

日雇雇用保険手帳（白手帳）を所持していると回答した者に、今月の認定資格の有無を聞いたところ、「有」と回答した者が 8 人（72.7%）、「無」と回答した者が 3 人（27.3%）となっていた（表 6）。今月の認定資格のある者が 7 割を超えていることがわかる。

表 7 問 5-2 日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた場合
の今は持っていない理由

	人数	割合
ア アブレ手当をもらえるほど働けなくなった	1	7.1
イ 印紙を貼ってくれる事業所が減った	2	14.3
ウ 取り上げられた(不正など)	5	35.7
エ その他	6	42.9
有効回答者数	14	100.0
不明	0	
非該当	36	
合計	50	

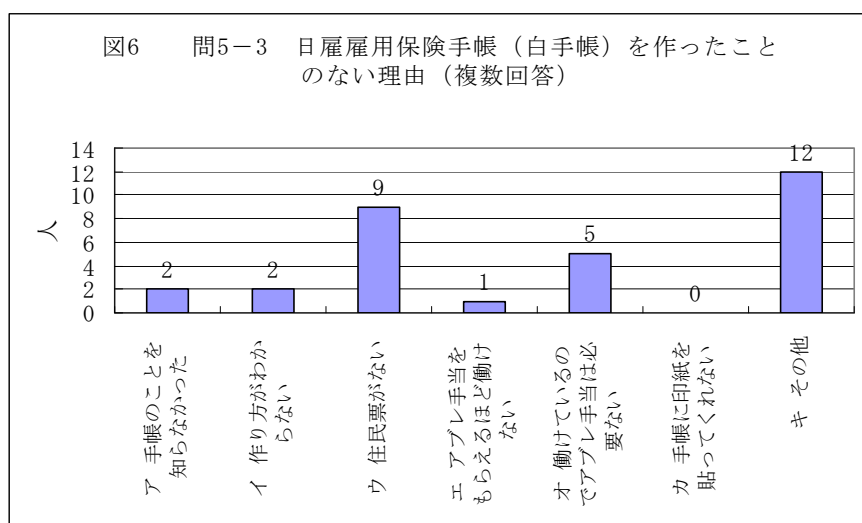
図5 問5-2 日雇雇用保険手帳（白手帳）を以前持っていた場合の今は持っていない理由



日雇雇用保険手帳（白手帳）を以前持っていた者に、今は持っていない理由を聞いたところ、「取り上げられた（不正など）」と回答した者が5人で3割強を占めている（表7、図5）。

表8 問5-3 日雇雇用保険手帳（白手帳）を作ったことのない理由（複数回答）

	人数	割合
ア 手帳のことを知らなかった	2	8.7
イ 作り方がわからない	2	8.7
ウ 住民票がない	9	39.1
エ アブレ手当をもらえるほど働けない	1	4.3
オ 働けているのでアブレ手当は必要ない	5	21.7
カ 手帳に印紙を貼ってくれない	0	0.0
キ その他	12	52.2
有効回答数	31	134.8
有効回答者数	23	
不明	0	
非該当	27	
合計	50	



日雇雇用保険手帳（白手帳）を作ったことがないと回答した者に対して、作ったことのない理由を問うた結果が表 8、図 6 である。「住民票がない」と回答した者が 9 人（39.1%）と一定数を占めていた。また、「その他」と回答した者も多かったが、これは自由記述をみる限りでは、相対的に手続きが困難だと感じている者が多いようである。

表 9 問 6-1 日雇健康保険に加入していますか。（現在）

	人数	割合
有	1	2.0
無	49	98.0
有効回答者数	50	100.0
不明	0	
合計	50	

表 10 問 6-2 建退共手帳に加入していますか。（現在）

	人数	割合
有	2	4.1
無	47	95.9
有効回答者数	49	100.0
不明	1	
合計	50	

表 11 問 6-3 国民健康保険に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	15	30.6
無	34	69.4
有効回答者数	49	100.0
不明	1	
合計	50	

表 12 問 6-4 国民年金に加入していますか。(現在)

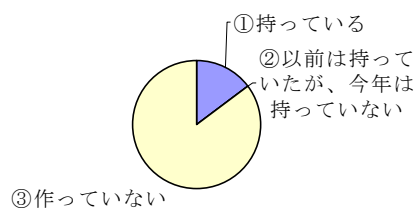
	人数	割合
有	6	12.0
無	44	88.0
有効回答者数	50	100.0
不明	0	
合計	50	

問 6 では、日雇健康保険、建退共手帳、国民健康保険、国民年金への加入状況について質問している（表 9～12）。日雇健康保険、建退共手帳について加入していない者が 9 割 5 分を超えて圧倒的多数に達している。また、国民健康保険は加入している者が 3 割強いるものの多くは未加入である。さらに、国民年金については加入している者が 1 割強に過ぎない。

表 13 問 7（55 歳以上の方に）特別清掃カードを持っていますか

	人数	割合
①持っている	3	15.0
②以前は持っていたが、今年を持っていない	0	0.0
③作っていない	17	85.0
有効回答者数	20	100.0
不明	1	
非該当	29	
合計	50	

図7 問7 (55歳以上の方に) 特別清掃のカードを持っていますか



特別清掃カードを有しているかどうかについて聞いたところ、55歳以上の者のうち、「作っていない」と回答した者が17人(85.0%)と8割5分に達している(表13、図7)。「持っている」と回答した者は3人みられたものの、「以前は持っていたが、今年を持っていない」と回答した者はいなかった。

表14 問7-1 特別清掃カードを持っている方の輪番への参加状況

	人数	割合
ア いつも来る	2	66.7
イ たまに	1	33.3
ウ めったに来ない	0	0.0
その他	0	0.0
有効回答者数	3	100.0
不明	0	
非該当	47	
合計	50	

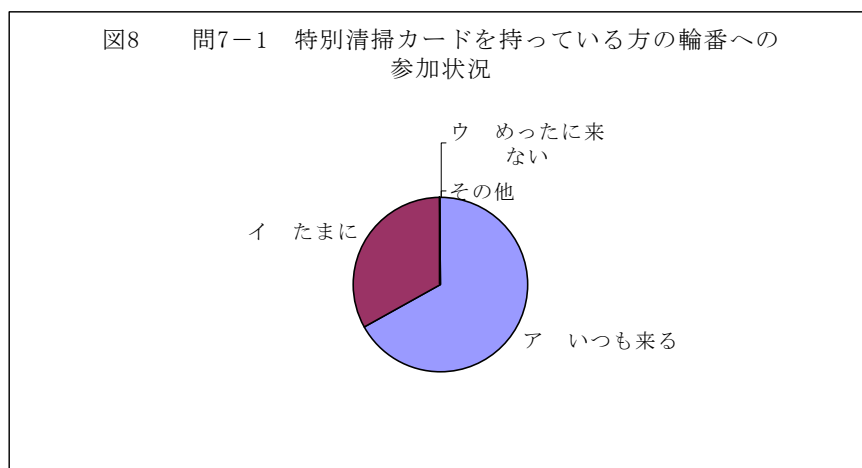
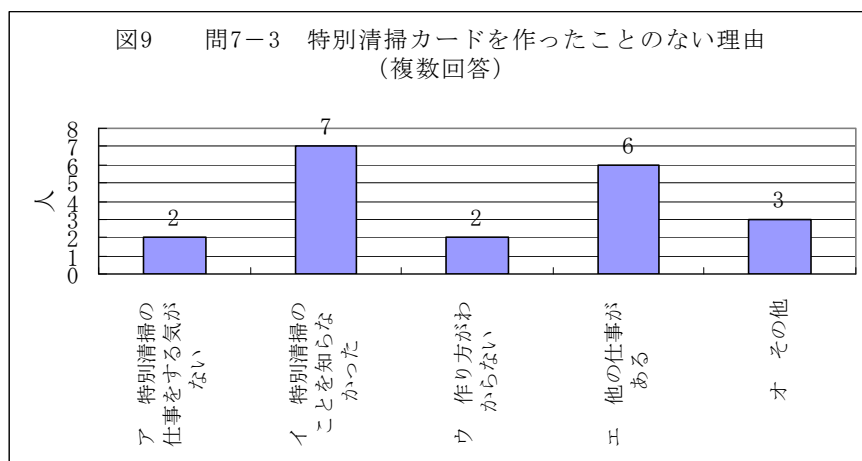


表 14、図 8 は、特別清掃カードを持っていると回答した 3 人に対して、輪番への参加状況を聞いた結果である。これによると、「いつも来る」と回答した者が 2 人、「たまに」と回答した者が 1 人となっていることがわかる。

表 15 問 7-3 特別清掃カードを作ったことのない理由(複数回答)

	人数	割合
ア 特別清掃の仕事をする気がない	2	11.8
イ 特別清掃のことを知らなかった	7	41.2
ウ 作り方がわからない	2	11.8
エ 他の仕事がある	6	35.3
オ その他	3	17.6
有効回答数	20	117.6
有効回答者数	17	
不明	0	
非該当	33	
合計	50	



特別清掃カードを作ったことがないと回答した 17 人に、その理由を複数回答で問うたところ、「特別清掃のことを知らなかった」と答えた者が 7 人、「他の仕事がある」と答えた者が 6 人で相対的に多かった（表 15、図 9）。

表 16 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008 年 9 月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日の合計】

	人数	割合
なし	2	4.1
1-5 日	7	14.3
6-10 日	13	26.5
11-15 日	13	26.5
16-20 日	10	20.4
21-25 日	2	4.1
26 日以上	1	2.0
有効回答者数	49	100.0
不明	0	
非該当	2	
合計	50	

図10 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか【2008年9月の現金と契約で仕事をした日の合計】

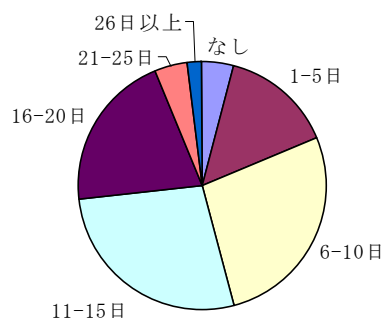
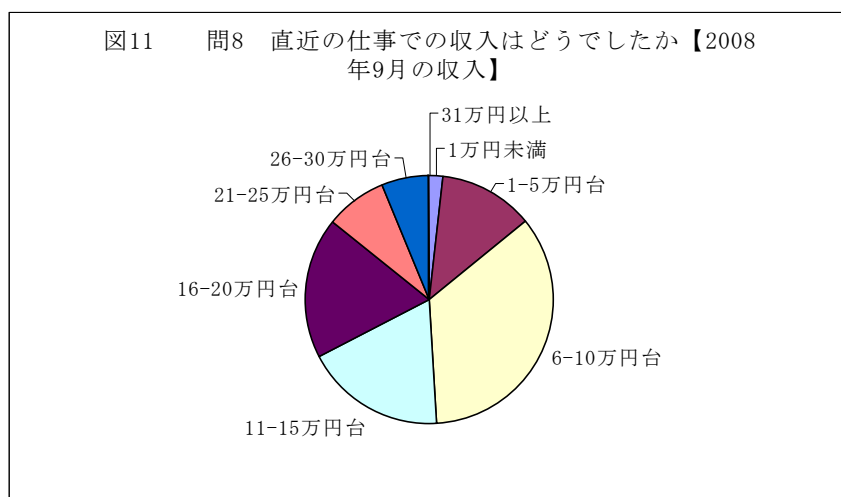


表 16、図 10 は、2008 年 9 月の現金（日雇）と契約（期間）で仕事をした日を合計した結果を示したものである。これによると、「6-10 日」、「11-15 日」と回答した者が最も多く、いずれも 13 人（26.5%）となっている。さらに、「16-20 日」と回答した者も 10 人おり約 2 割を占めている。

表 17 【2008 年 9 月の収入】

	人数	割合
1 万円未満	1	2.0
1-5 万円台	6	12.2
6-10 万円台	17	34.7
11-15 万円台	9	18.4
16-20 万円台	9	18.4
21-25 万円台	4	8.2
26-30 万円台	3	6.1
31 万円以上	0	0.0
有効回答者数	49	100.0
不明	0	
非該当	1	
合計	50	

※仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。



2008年9月の仕事による収入について聞いたところ、最も多かったのは「6-10万円台」と回答した者で17人（34.7%）と3割5分を占めている（表17、図11）。次いで多かったのは「11-15万円台」、「16-20万円台」と回答した者で、いずれも9人（18.4%）であった。

表18 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか
【2008年10月の現金（日雇）と契約（期間）で仕事をした日の合計】

	人数	割合
なし	1	2.0
1-5日	5	10.2
6-10日	20	40.8
11-15日	11	22.4
16-20日	6	12.2
21-25日	4	8.2
26日以上	1	2.0
有効回答者数	49	100.0
不明	0	
非該当	2	
合計	50	

図12 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか【2008年10月の現金と契約で仕事をした日の合計】

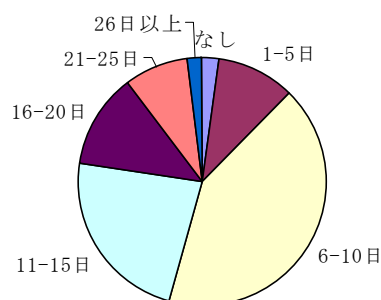
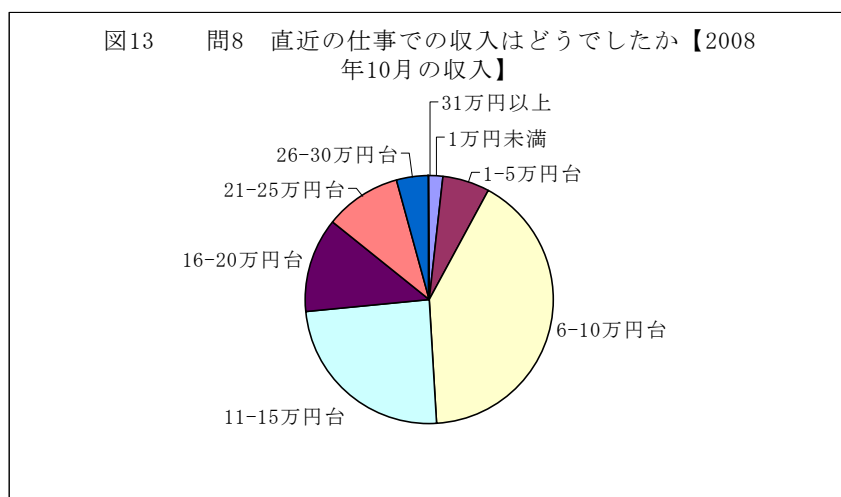


表 18、図 12 は、2008 年 10 月の現金（日雇）と契約（期間）で仕事をした日を合計した結果を示したものである。これによると、「6-10 日」と回答した者が 20 人（40.8%）となっており 4 割を超えて最も多くなっている。次いで、「11-15 日」と回答した者が 11 人（22.4%）で 2 割を超えている。

表 19 【2008 年 10 月の収入】

	人数	割合
1 万円未満	1	2.0
1-5 万円台	3	6.1
6-10 万円台	20	40.8
11-15 万円台	12	24.5
16-20 万円台	6	12.2
21-25 万円台	5	10.2
26-30 万円台	2	4.1
31 万円以上	0	0.0
有効回答者数	49	100.0
不明	0	
非該当	1	
合計	50	

※仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。



2008年10月の仕事による収入について聞いたところ、最も多かったのは「6-10万円台」と回答した者で20人（40.8%）と4割を超えている（表19、図13）。次いで多かったのは「11-15万円台」と回答した者で、12人（24.5%）と2割5分に上っている。

表20 問9 9月、10月に現金や契約で仕事をしていない理由は何ですか

	人数	割合
①仕事を探したが見つからなかった	0	0.0
②仕事を全く探していない	1	100.0
有効回答者数	1	100.0
不明	0	
非該当	49	
合計	50	

表20は、2008年9月、10月の2ヵ月間に現金、契約のいずれにおいても仕事をしていなかった1人に対して、仕事を探したかどうかを質問した結果を示したものである。これによると「仕事を全く探していない」との回答であったことがわかる。

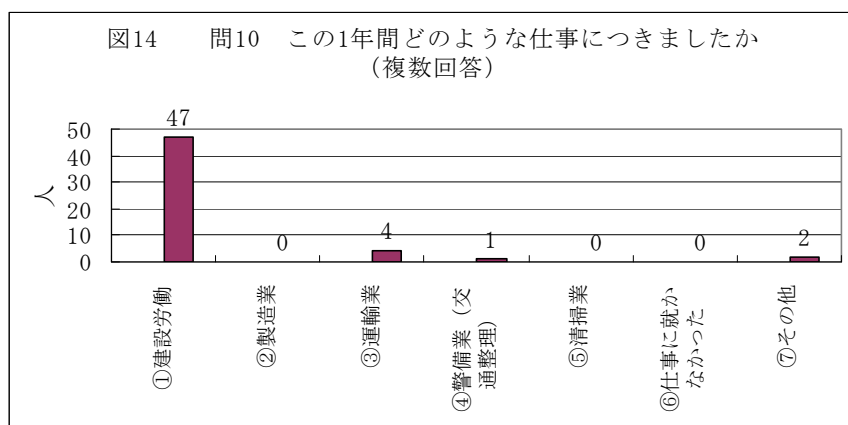
表 21 問 9-1 その理由は何ですか(複数回答)

	人数	割合
①年齢で断られた(断られる)	0	0.0
②仕事が少ない	0	0.0
③健康に不安がある(高血圧等)	1	100.0
④体力に不安がある	1	100.0
⑤特別清掃しかできない	0	0.0
⑥自分の能力に合う仕事がない	0	0.0
⑦その他	0	0.0
有効回答数	2	200.0
有効回答者数	1	
不明	0	
非該当	49	
合計	50	

表 21 は、2008 年 9 月、10 月の 2 ヶ月間に現金、契約のいずれにおいても仕事をしていなかった 1 人に対して、仕事をまったく探さなかった理由を問うた結果を示したものである。これによると、「健康に不安がある（高血圧等）」、「体力に不安がある」との回答であったことがわかる。

表 22 問 10 この 1 年間どのような仕事につきましたか
(複数回答)

	人数	割合
①建設労働	47	94.0
土工	36	72.0
とび工	4	8.0
鉄筋工	0	0.0
型枠大工	0	0.0
解体工	5	10.0
職長	0	0.0
その他職人	5	10.0
不明	0	0.0
②製造業	0	0.0
③運輸業	4	8.0
④警備業(交通整理)	1	2.0
⑤清掃業	0	0.0
⑥仕事に就かなかった	0	0.0
⑦その他	2	4.0
有効回答数	104	208.0
有効回答者数	50	
不明	0	
合計	50	



この 1 年間にどのような仕事についたかを複数回答で聞いたところ、「建設労働」が 47 人 (94.0%) で圧倒的多数を占めていた (表 22、図 14)。「建設労働」の内訳について回

答が得られたなかでは、「土工」と回答した者が最も多くなっている。

表 23 問 11 主にどこで仕事を探しますか

	人数	割合
①センターの寄場内	37	80.4
②センターの周辺路上(あいりん地域内)	1	2.2
③あいりん地域外	3	6.5
④特に決まっていない	3	6.5
⑤直接現場に行くので仕事を探す場所はない	2	4.3
有効回答者数	46	100.0
不明	4	
非該当	0	
合計	50	

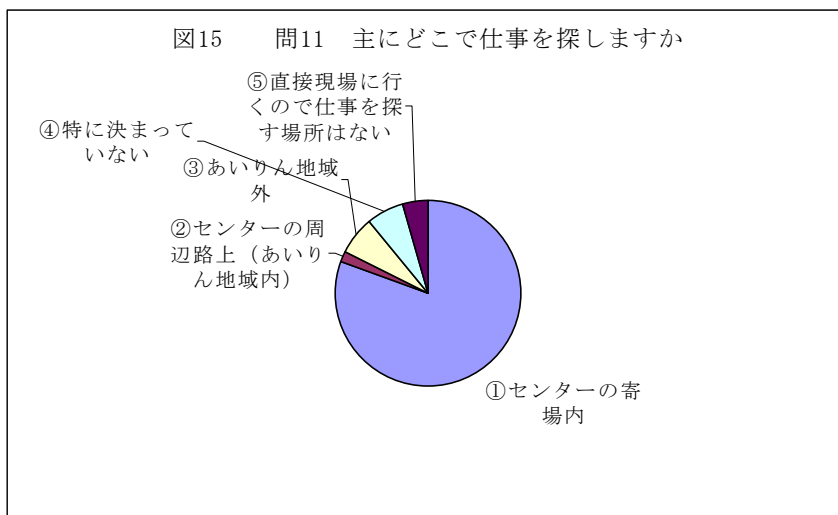


表 23、図 15 は、主にどこで仕事を探しているかを聞いた結果を示したものである。「センターの寄場内」と回答した者が 37 人 (80.4%) と圧倒的多数を占めていることがわかる。

表 24 問 11-1 その場所を選ぶことが多い理由は何ですか

	人数	割合
①なじみの業者がいる	21	50.0
②業者からその場所に来よう指示がある	0	0.0
③業者からの声がかかりやすい	15	35.7
④仲間や知人がいる	3	7.1
⑤特に理由はない	2	4.8
⑥その他	1	2.4
有効回答者数	42	100.0
不明	3	
非該当	5	
合計	50	

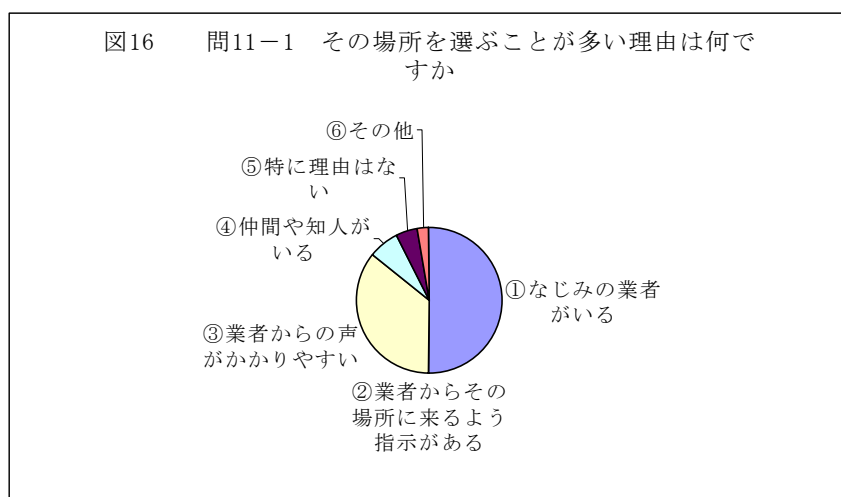


表 24、図 16 は、主に仕事を探している場所が決まっている者に対して、その場所を選んだ理由について聞いた結果を示したものである。「なじみの業者がいる」と回答した者が 21 人（50.0%）と半数を占めている。また、次に多かったのが「業者からの声がかかりやすい」と回答した者で 15 人（35.7%）と 3 割 5 分に上っている。

表 25 問 11-2 その場所へは、定期的に行っていますか

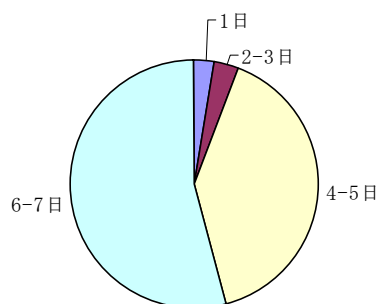
	人数	割合
①はい	38	84.4
②いいえ	7	15.6
有効回答者数	45	100.0
不明	0	
非該当	5	
合計	50	

表 25 は、主に仕事を探している場所が決まっている者に対して、そこへ定期的に行っているかどうかについて見たものである。「はい」と回答した者が 38 人（84.4%）と 8 割 5 分に上っている。

表 26 問 11-2① その場所へ定期的に行っている日数(1 週間に○日)

	人数	割合
1 日	1	2.9
2-3 日	1	2.9
4-5 日	14	40.0
6-7 日	19	54.3
有効回答者数	35	100.0
不明	3	
非該当	12	
合計	50	

図17 問11-2① その場所へ定期的に行っている日数
(1週間に○日)



主に仕事を探す場所が決まっている者が、その場所へ定期的に行っている場合、その日数を聞いたところ、1週間あたり「6-7日」と回答した者が19人（54.3%）と半数を超えた（表26、図17）。また「4-5日」と回答した者も約4割に上っている。

1週間の半数以上、決まった場所へ行っている者が9割5分に上っていることがわかる。

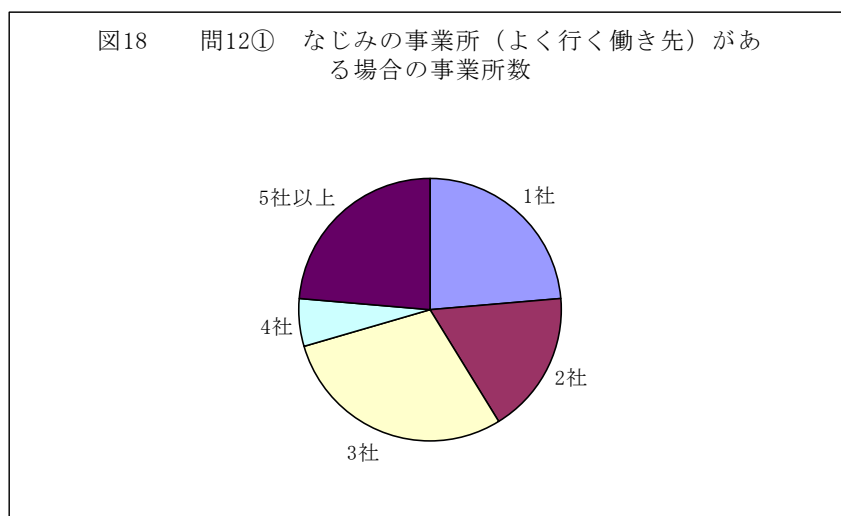
表27 問12 なじみの事業所(よく行く働き先)はありますか

	人数	割合
①ある	36	72.0
②ない	14	28.0
有効回答者数	50	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	50	

なじみの事業所の有無について聞いたところ、「ある」と回答した者が36人（72.0%）となっている（表28）。7割以上の者がなじみの事業所（よく行く働き先）を有していることがわかる。

表28 問12① なじみの事業所(よく行く働き先)がある場合の事業所数

	人数	割合
1社	8	23.5
2社	6	17.6
3社	10	29.4
4社	2	5.9
5社以上	8	23.5
有効回答者数	34	100.0
不明	2	
非該当	14	
合計	50	

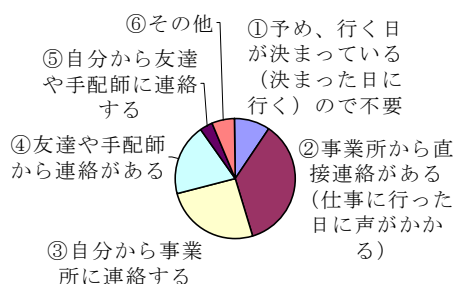


なじみの事業所があると回答した者に、その数を聞いたところ「3社」と回答した者が最も多く10人（29.4%）であった。また、「1社」と回答した者が8人で2割を超えている一方で、「5社以上」と回答した者も同数に上っている。

表 29 問 12-1 その事業所に行くことは、どうやって決めますか

	人数	割合
①予め、行く日が決まっている(決まった日に行く)ので不要	3	9.7
②事業所から直接連絡がある(仕事に行った日に声がかかる)	11	35.5
③自分から事業所に連絡する	8	25.8
④友達や手配師から連絡がある	6	19.4
⑤自分から友達や手配師に連絡する	1	3.2
⑥その他	2	6.5
有効回答者数	31	100.0
不明	5	
非該当	14	
合計	50	

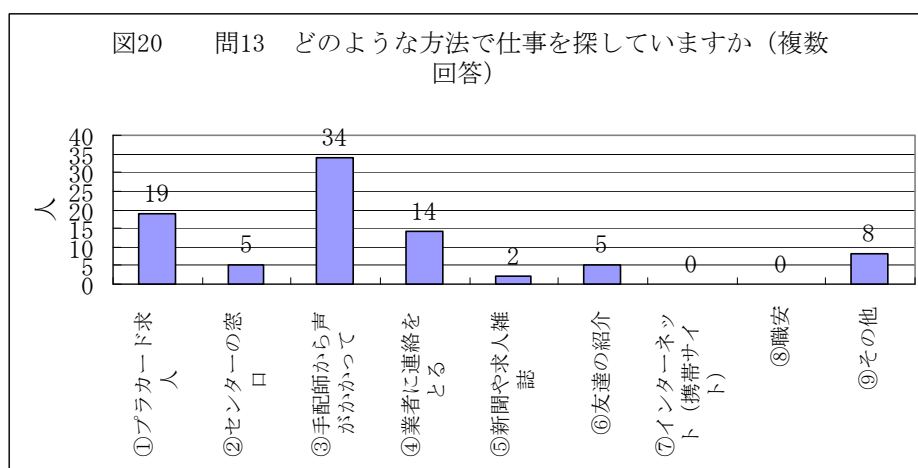
図19 問12-1 その事業所に行くことは、どうやって決めますか



さらに、その事業所に行くことはどうやって決めるかを聞いたところ、「事業所から直接連絡がある（仕事に行った日に声がかかる）」と回答した者が最も多く 11 人（35.5%）に上っている（表 29、図 19）。次いで、「自分から事業所に連絡する」、「友達や手配師から連絡がある」と回答した者は、それぞれ 8 人（25.8%）、6 人（19.4%）に上っており、一定数を占めていることがわかる。

表 30 問 13 どのような方法で仕事を探していますか
(複数回答)

	人数	割合
①プラカード求人	19	38.0
②センターの窓口	5	10.0
③手配師から声がかかって	34	68.0
④業者に連絡をとる	14	28.0
⑤新聞や求人雑誌	2	4.0
⑥友達の紹介	5	10.0
⑦インターネット(携帯サイト)	0	0.0
⑧職安	0	0.0
⑨その他	8	16.0
有効回答数	87	174.0
有効回答者数	50	
不明	0	
合計	50	



どのような方法で仕事を探しているかを複数回答で聞いたところ、「手配師から声がかかって」と回答した者が最も多く 34 人（68.0%）と 7 割近くに上った（表 30、図 20）。また、「プラカード求人」、「業者に連絡をとる」と回答した者もそれぞれ 4 割近く、3 割近くに上り一定数を占めている。

表 31 問 14 携帯電話で仕事探しをしたり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがありますか

	人数	割合
①ある	20	40.0
②ない(携帯電話を持っていない)	30	60.0
有効回答者数	50	100.0
不明	0	
合計	50	

表 31 は、携帯電話で仕事を探したり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがあるかどうかを聞いた結果を示したものである。「ある」と回答した者が 20 人（40.0%）、「ない（携帯電話を持っていない）」と回答した者が 30 人（60.0%）となっており、携帯電話を有している者は 4 割であることがわかる。

表 32 問 15 仕事を探す時プラカードを参考にしますか？

	人数	割合
①参考にしている	26	54.2
②参考にしていない	5	10.4
③自分にとっては関係ない	11	22.9
④プラカードが何かわからない	6	12.5
有効回答者数	48	100.0
不明	2	
合計	50	

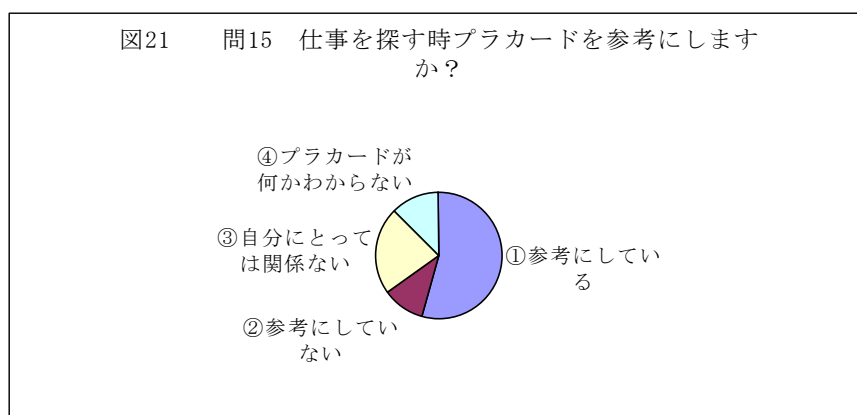
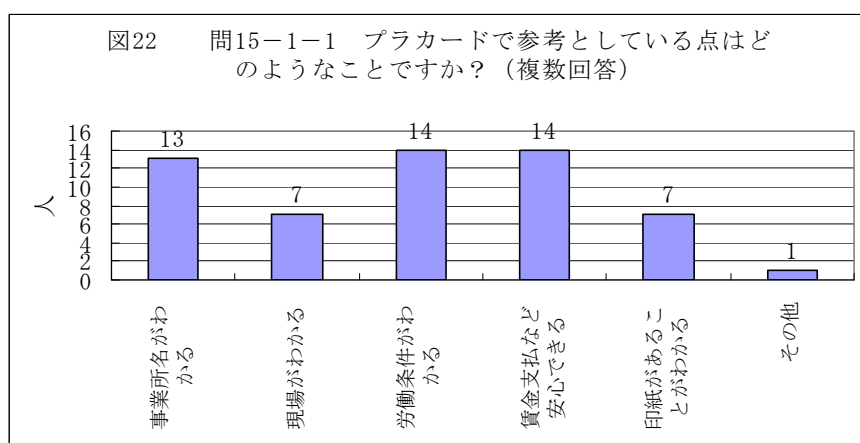


表 32、図 21 は、仕事を探す時に、プラカードを参考にするかどうかを聞いた結果を示したものである。「参考にしてている」と回答した者が 26 人 (54.2%) で半数に上っている。一方で、「自分にとっては関係ない」と回答した者も 11 人 (22.9%) と 2 割ほどみられる。

表 33 問 15-1-1 プラカードで参考としている点はどのようなことですか？(複数回答)

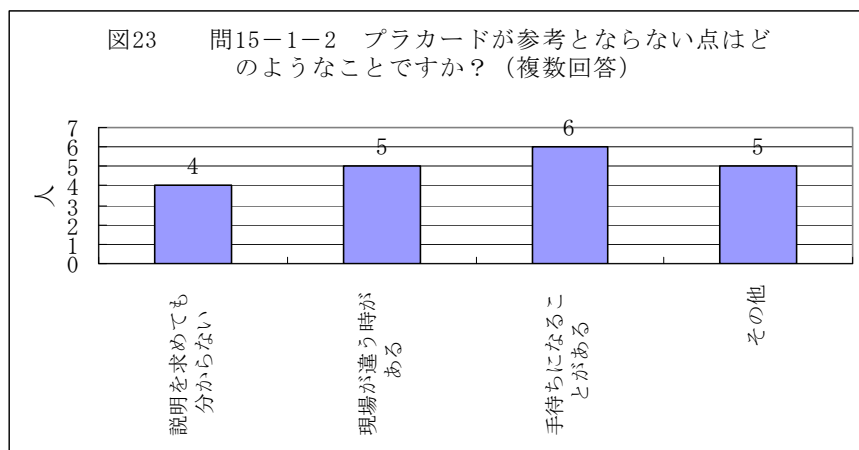
	人数	割合
事業所名がわかる	13	54.2
現場がわかる	7	29.2
労働条件がわかる	14	58.3
賃金支払など安心できる	14	58.3
印紙があることがわかる	7	29.2
その他	1	4.2
有効回答数	56	233.3
有効回答者数	24	
不明	2	
非該当	24	
合計	50	



仕事を探す時に、プラカードを参考にしている者に対して、プラカードで参考にしている点はどのようなことかを、複数回答で聞いた結果を示したのが表 33、図 22 である。「労働条件がわかる」、「賃金支払など安心できる」が最も多く、いずれも 14 人（58.3%）と 6 割弱に上っている。また、「事業所名がわかる」と回答した者も 13 人（54.2%）で相対的に多く、5 割 5 分ほどみられる。

表 34 問 15-1-2 プラカードが参考とならない点はどのようなことですか？(複数回答)

	人数	割合
説明を求めても分からない	4	23.5
現場が違う時がある	5	29.4
手待ちになることがある	6	35.3
その他	5	29.4
有効回答数	20	117.6
有効回答者数	17	
不明	14	
非該当	19	
合計	50	



仕事を探す時に、プラカードを参考に行っている者と、参考に行っていない者に対して、プラカードが参考とならない点はどのようなことかを聞いた結果を示したのが表 34、図 23 である。最も多かったのが「手待ちになることがある」と回答した者で 6 人 (35.3%) と 3 割 5 分を占めている。次に多かったのが、「現場が違う時がある」、「その他」と回答した者で、いずれも 5 人 (29.4%) みられる。

表 35 問 16 西成センターの窓口で仕事の紹介をしているの
を知っていますか

	人数	割合
①知っている	33	66.0
②知らない	17	34.0
有効回答者数	50	100.0
不明	0	
合計	50	

表 35 は、西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っているかどうかを聞いた結果を示したものである。「知っている」と回答した者が 33 人（66.0%）と 6 割 5 分を占めている。

表 36 問 16-1 窓口紹介の方法で改善したほうがいいと思うことは
どのようなことですか(複数回答)

	人数	割合
①抽選紹介ではなく技能に応じた紹介にしてほしい	4	12.9
②紹介の時間帯を変えてほしい	3	9.7
③仕事の内容をもっと詳しく説明してほしい	2	6.5
④宿舎(寄宿舎)の状況をもっと詳しく教えてほしい	4	12.9
⑤携帯電話で求人内容を見れるようにしてほしい	3	9.7
⑥その他	6	19.4
⑦特にない	15	48.4
有効回答数	37	119.4
有効回答者数	31	
不明	2	
非該当	17	
合計	50	

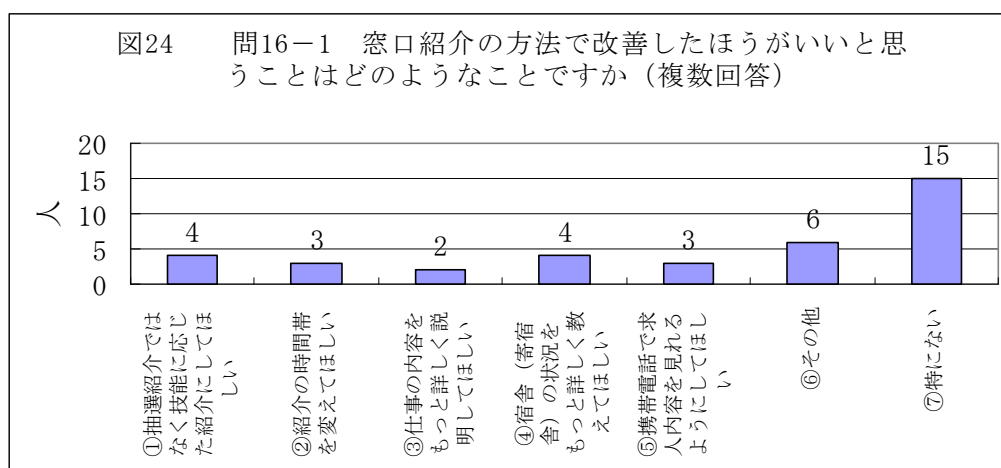
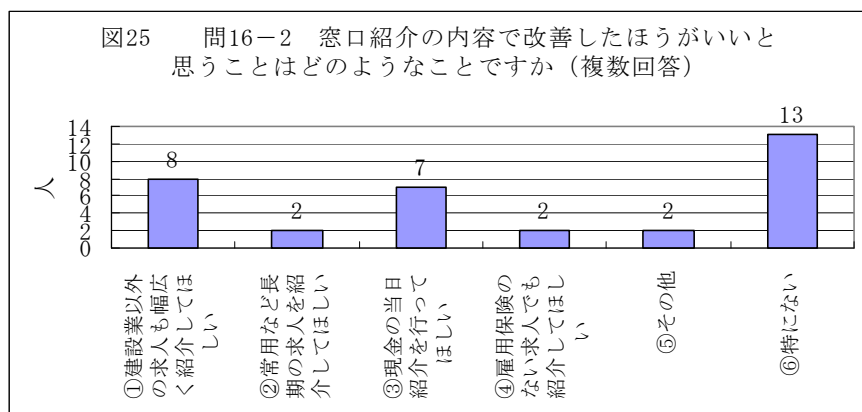


表 36、図 24 は、西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っている者に対して、窓口紹介の方法で改善したほうがいいと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いた結果を示したものである。「特にない」が最多で 15 人（48.4%）と 5 割弱に上っている。また、数は少ないものの「抽選紹介ではなく技能に応じた紹介してほしい」、「宿舎（寄宿舎）の状況をもっと詳しく教えてほしい」と回答した者がいずれも 4 人みられる。

表 37 問 16-2 窓口紹介の内容で改善したほうがいいと思うことはどのようなことですか（複数回答）

	人数	割合
①建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい	8	27.6
②常用など長期の求人を紹介してほしい	2	6.9
③現金の当日紹介を行ってほしい	7	24.1
④雇用保険のない求人でも紹介してほしい	2	6.9
⑤その他	2	6.9
⑥特にない	13	44.8
有効回答数	34	117.2
有効回答者数	29	
不明	4	
非該当	17	
合計	50	



さらに、窓口紹介の内容で改善したほうが良いと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いたところ、「特にない」と回答した者が13人（44.8%）で4割5分に上り、最も多かった。次いで、「建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい」が8人（27.6%）、「現金の当日紹介を行ってほしい」が7人（24.1%）で一定数を占めている。

表38 問17 西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う(週1日以上)施設は、どこですか（複数回答）

	人数	割合
①あいりん職安	9	18.4
②玉出社会保険事務所の窓口	1	2.0
③食堂、売店	32	65.3
④理髪店	2	4.1
⑤ロッカールーム	3	6.1
⑥シャワールーム	2	4.1
⑦その他	10	20.4
⑧特にない	10	20.4
有効回答数	69	140.8
有効回答者数	49	
不明	1	
合計	50	

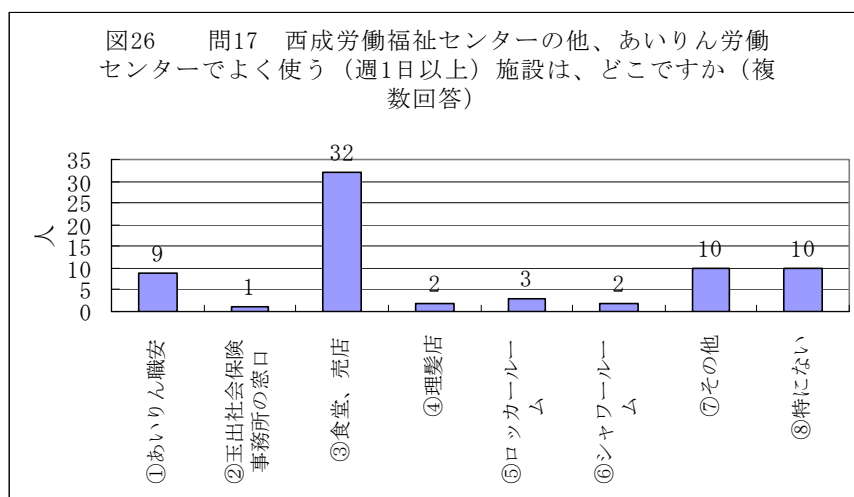
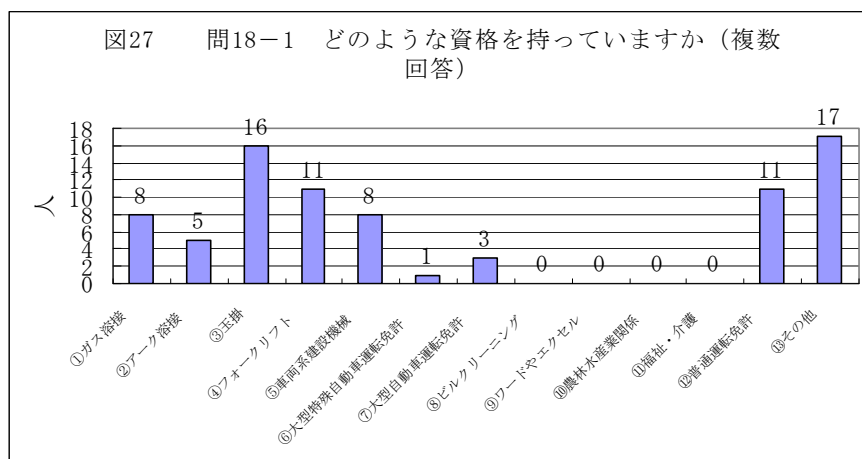


表 38、図 26 は、西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う（週 1 日以上）施設はどこかを、複数回答で聞いた結果を示したものである。「食堂、売店」が 32 人（65.3%）で 6 割 5 分を占めて最も多くなっている。

表 39 問 18-1 どのような資格を持っていますか（複数回答）

	人数	割合
①ガス溶接	8	24.2
②アーク溶接	5	15.2
③玉掛	16	48.5
④フォークリフト	11	33.3
⑤車両系建設機械	8	24.2
⑥大型特殊自動車運転免許	1	3.0
⑦大型自動車運転免許	3	9.1
⑧ビルクリーニング	0	0.0
⑨ワードやエクセル	0	0.0
⑩農林水産業関係	0	0.0
⑪福祉・介護	0	0.0
⑫普通運転免許	11	33.3
⑬その他	17	51.5
有効回答数	80	242.4
有効回答者数	33	
不明・無回答	17	
合計	50	

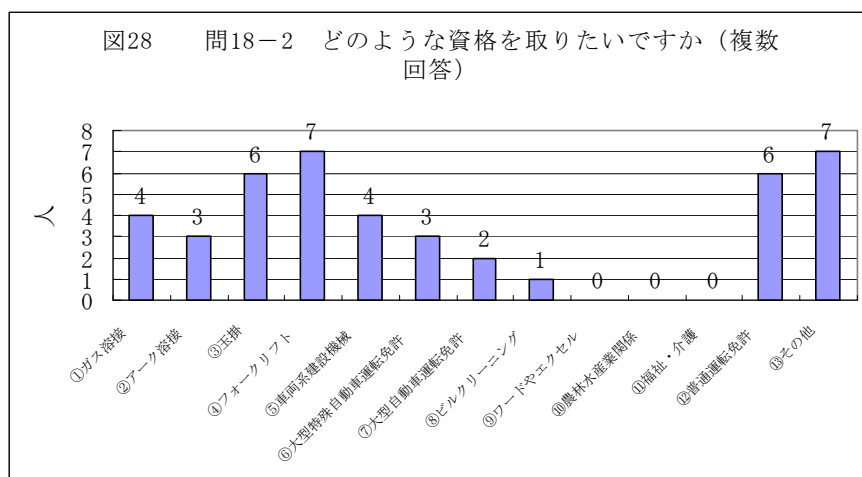


どのような資格を持っているのかを複数回答で聞いた結果を示したのが表 39、図 27 である。「その他」が最も多いものの、次に多いのが「玉掛」で 16 人（48.5%）、「フォークリフト」で 11 人（33.3%）、「普通運転免許」で 11 人（33.3%）となっている。

一方、資格を有している者がいなかったのが「ビルクリーニング」、「ワードやエクセル」、「農林水産業関係」、「福祉・介護」であった。

表 40 問 18-2 どのような資格を取りたいですか(複数回答)

	人数	割合
①ガス溶接	4	16.0
②アーク溶接	3	12.0
③玉掛	6	24.0
④フォークリフト	7	28.0
⑤車両系建設機械	4	16.0
⑥大型特殊自動車運転免許	3	12.0
⑦大型自動車運転免許	2	8.0
⑧ビルクリーニング	1	4.0
⑨ワードやエクセル	0	0.0
⑩農林水産業関係	0	0.0
⑪福祉・介護	0	0.0
⑫普通運転免許	6	24.0
⑬その他	7	28.0
有効回答数	43	172.0
有効回答者数	25	
不明・無回答	25	
合計	50	

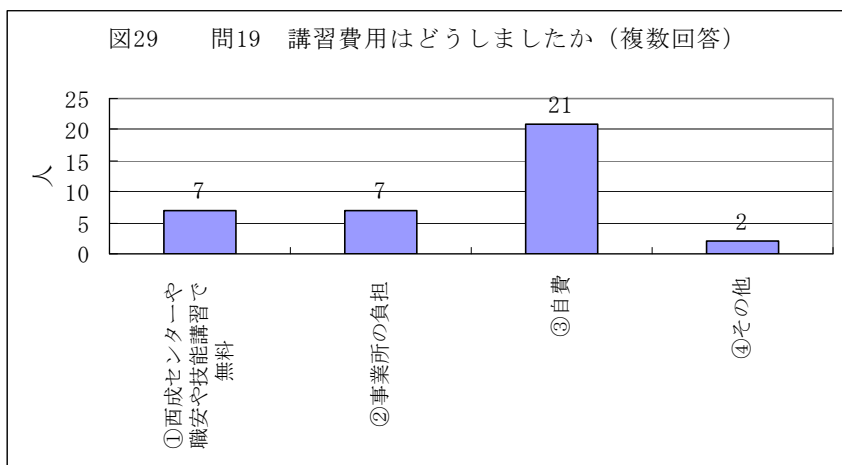


次に、どのような資格を取りたいかについて質問した結果を示したのが表 40、図 28 である。相対的に多かったのは「フォークリフト」と回答した者で 7 人 (28.0%)、「玉掛」、「普通自動車免許」と回答した者でそれぞれ 6 人 (24.0%) みられる。

一方、実際に取得している者が少なかった資格に関しては、「ビルクリーニング」の資格を取りたいと回答した者が1人（4.0%）みられた。

表 41 問 19 講習費用はどうしましたか(複数回答)

	人数	割合
①西成センターや職安や技能講習で無料	7	21.2
②事業所の負担	7	21.2
③自費	21	63.6
④その他	2	6.1
有効回答数	37	112.1
有効回答者数	33	
不明・非該当	17	
合計	50	



前問で何らかの資格を取得していると回答した者に対して、その講習費用をどうしたのかについて複数回答で聞いた結果を示したのが表 41、図 29 である。「自費」が 21 人（63.6%）と 6 割を超えて最も多くなっている。

表 42 問 20 会社勤めなど常用
の仕事我希望していますか

	人数	割合
①希望している	28	56.0
②希望していない	22	44.0
有効回答者数	50	100.0
不明	0	
合計	50	

表 42 は、会社勤めなど常用の仕事我希望しているかどうかについてみたものである。「希望している」と回答した者が 28 人（56.0%）と 5 割 5 分を超え、「希望していない」と回答した者が 22 人（44.0%）と 4 割強を占めている。

表 43 問 20-1 希望する職種は
何ですか(複数回答)

	人数	割合
①建設業	15	53.6
②製造業	7	25.0
③運輸業	8	28.6
④清掃業	3	10.7
⑤警備業	2	7.1
⑥農林漁業	0	0.0
⑦事務	0	0.0
⑧その他	7	25.0
有効回答数	42	150.0
有効回答者数	28	
不明	0	
非該当	22	
合計	50	

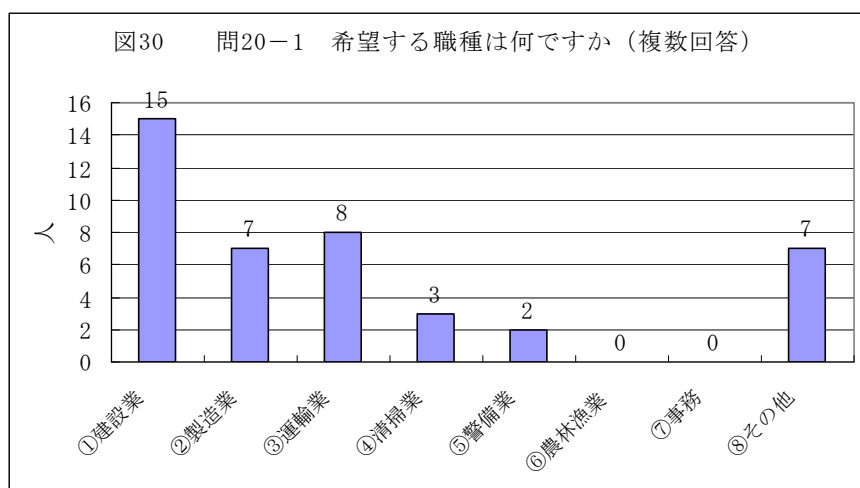


表 43、図 30 は、会社勤めなど常用の仕事を希望していると回答した者に対して、希望する職種を複数回答で聞いた結果を示したものである。「建設業」と回答した者が最も多く 15 人（53.6%）と半数を超えている。次いで、「運輸業」が 8 人（28.6%）、「製造業」が 7 人（25.0%）となっている。

表 44 問 20-2 常用就職するために、どのような手助けがほしいでしょうか(複数回答)

	人数	割合
①技能講習	9	32.1
②現場実習訓練	1	3.6
③教養講座	0	0.0
④求人情報の提供	6	21.4
⑤自分に向けた就職のあっせん	14	50.0
⑥適性相談(キャリアカウンセリング)	1	3.6
⑦就職活動のノウハウの提供(履歴書の書き方や面接への対応方法など)	2	7.1
⑧当座の生活資金の援助	14	50.0
⑨住宅借上げの支援(保証人)	10	35.7
⑩就職に当たっての身元保証	3	10.7
⑪就職後の相談支援	4	14.3
⑫その他	5	17.9
有効回答数	69	246.4
有効回答者数	28	
不明	0	
非該当	22	
合計	50	

図31 問20-2 常用就職するために、どのような手助けがほしいでしょうか(複数回答)

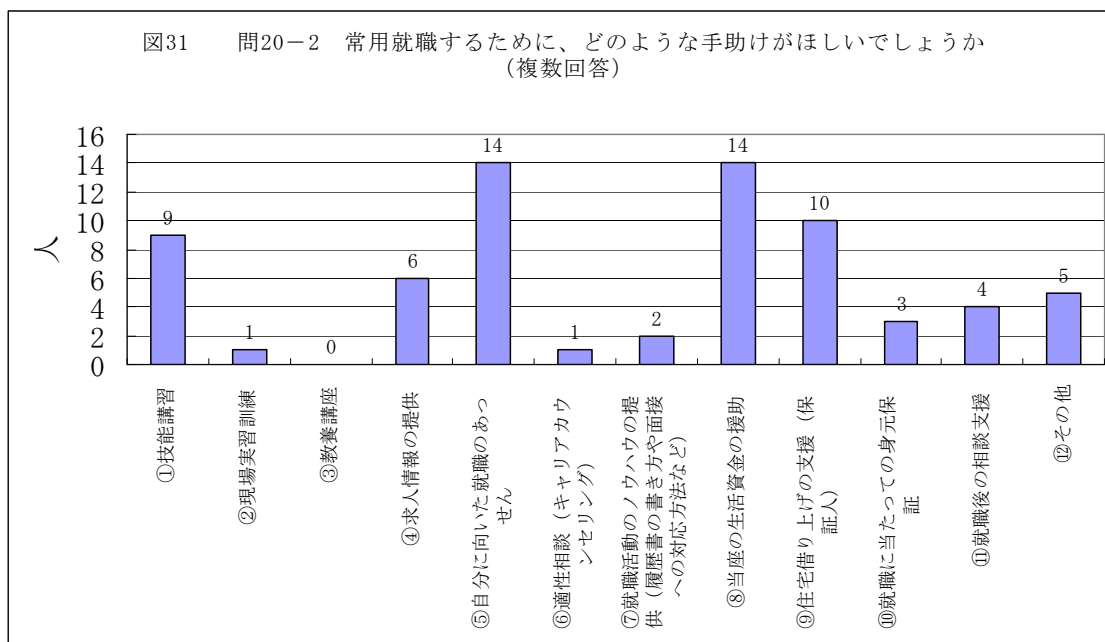
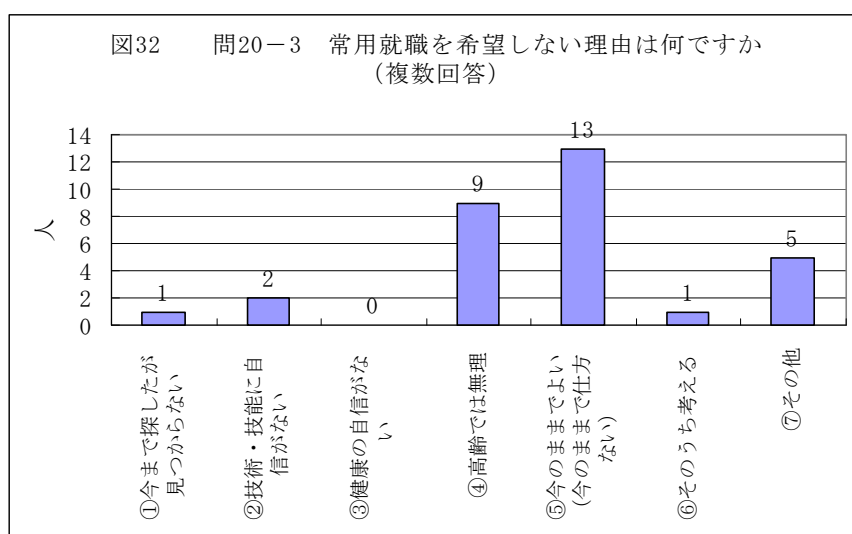


表 44、図 31 は、会社勤めなど常用の仕事我希望すると回答した者に対して、常用就職するために、どのような手助けがほしいかを複数回答で聞いた結果を示したものである。最も多かったのが「自分に向けた就職のあっせん」、「当座の生活資金の援助」と回答した者で、いずれも 14 人（50.0%）で半数に上った。また、「住宅借り上の支援（保証人）」と回答した者も 10 人（35.7%）、「技能講習」と回答した者も 9 人（32.1%）となっており一定数を占めているといえる。

表 45 問 20-3 常用就職を希望しない理由は何ですか(複数回答)

	人数	割合
①今まで探したが見つからない	1	4.5
②技術・技能に自信がない	2	9.1
③健康の自信がない	0	0.0
④高齢では無理	9	40.9
⑤今のままでよい(今のままで仕方ない)	13	59.1
⑥そのうち考える	1	4.5
⑦その他	5	22.7
有効回答数	31	140.9
有効回答者数	22	
不明	0	
非該当	28	
合計	50	



会社勤めなど常用の仕事を希望しないと回答したものに対して、常用就職を希望しない理由を複数回答で聞いた結果を示したのが、表 45、図 32 である。「今のままでよい（今のままで仕方ない）」が最も多く、13 人（59.1%）と 6 割を占めている。次に多かったのが「高齢では無理」と回答した者で 9 人（40.9%）と 4 割を超えている。